

破線ノイズの時間間隔に関する研究 A study on the time interval of Dashed-Line-Noise.

高橋 史典^{1*}

TAKAHASHI, Fuminori^{1*}

¹ なし

¹None

破線ノイズは、VHF帯のアナログテレビ映像に表れる点線のようなノイズである。つまり、代数幾何の方法を用いて、ノイズの発生間隔を求めることができるのである。2010年のJpGUでは、ノイズの座標から方向ベクトルを2つ求めて、ノイズの周期を計算する方法を紹介し、破線ノイズの発生周期には、奇妙なことがあることを紹介した。それは、破線の見た目の角度をほとんど変えずに、ノイズの発生周期がときどき大きく変わることである。この現象を簡単に説明するために、破線ノイズの発生には2つ何らかの事象が関与しているモデルを提唱した。ひとつは角度を連続的に変化させる現象で、もうひとつは非連続的に時間間隔を変化させる現象である。

今回の会合では、アナログ放送の水平同期が正確に63.555 μ secであることを利用して、測定値を校正したデータを紹介する。また、ノイズの発生周期が非連続的な値になっていることが確認できたので、あわせて紹介するつもりである。

キーワード: 破線ノイズ, 短期地震予知, 宏観異常

Keywords: Dashed Line Noise, short term earthquake prediction, macroanomaly